

# 平成28年度 健康保険組合全国大会開催！ 改革の早期実現！次世代へ安心・納得の確保を！

次世代へ安心・納得の確保に向け、改革の早期実現のために全国1,400余りの健康保険組合が、平成28年11月29日、東京国際フォーラムに参集し、「平成28年度健康保険組合全国大会」が開催されました。当日は約4,000人の健保組合関係者が参集し、皆保険の維持・発展に向け、改革の早期実現を求める決議を満場一致で採択しました。

大会で決議された内容の要旨と採択された4項目に関して皆さまにご報告いたします。

日本が世界に誇る国民皆保険制度は今、超高齢社会を迎え、その存続が危惧されています。かつてないスピードで進行するわが国の高齢化は、国民医療費の約6割を占める高齢者医療費の増加に拍車をかけ、その負担が現役世代に重くのしかかっています。

この過重な費用負担により、健康保険組合も厳しい財政運用を強いられ、これまで保険料の引き上げで対応してきましたが、被保険者1人当たりの年間保険料は現行の高齢者医療制度の創設以降、約10万円も増加し、負担はもはや限界に達しています。

皆保険制度を持続性のあるものとするためには現役世代の負担軽減が不可欠かつ急務です。平成29年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げは2年半延期されますが、消費増税の動向にかかわらず、必要な財源を確保し、公費拡充をはじめとする高齢者医療費の負担構造改革を早期に実現するべきです。また、それと共に全面総報酬割等や短時間労働者の適用拡大に伴う負担増に対する十分な財政支援を強く求めます。

健康保険組合は、これまで自主・自立の特性を生かし、事業主との連携のもと、健康保持・増進、疾病予防などのきめ細かい効果的な保健事業の推進や、医療費適正化に向けた積極的な取り組みなど、優れた保険者機能を発揮して国民皆保険制度のけん引役としての役割を果たしてきました。

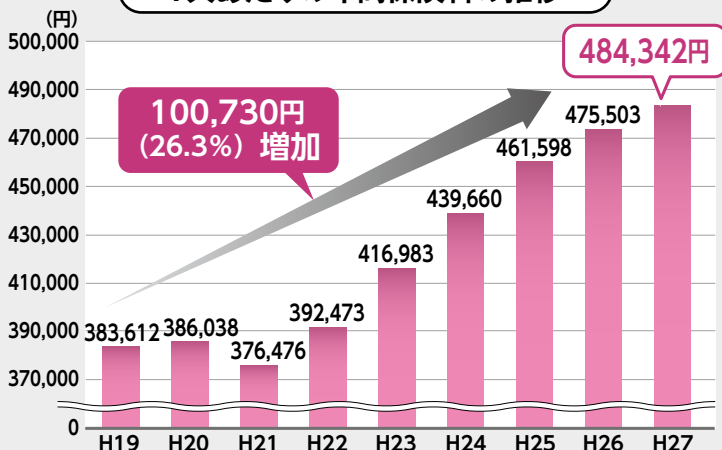
そして、その皆保険制度を次世代へ引き継ぐため、また、国民の安心確保に向け、現役世代が納得できる制度の実現を期し、我々健康保険組合は、大会で次の事項を組織の総意をもって決議しました。

現役世代が納得できる公平な制度の実現に向け、大会では次の事項の実現を期し、組織の総意をもって決議しました。

- 高齢者医療費の負担構造改革の早期実現
- 皆保険の堅持に向けた健保組合の維持・発展
- 実効ある医療費適正化対策の確実な実施
- 現役世代が納得できる介護保険制度の実現

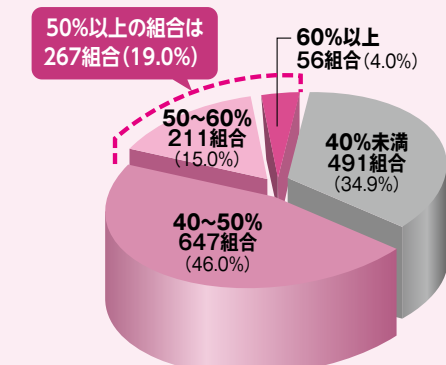


1人あたりの年間保険料の推移



注)平成19～26年度までは決算、27年度は決算見込みの数値。

保険料収入に対する支援金・納付金等の割合別組合数



注1)平成27年度決算見込み(1,405組合)の数値。  
注2) ( )内は、全組合(1,405)における構成比。  
注3)端数整理のため、計数が整合しないことがある。

## 横河電機健康保険組合組合会議員変更のお知らせ

### 就任議員

役職名	氏名	事業所	就任日
互選議員	川村 潤	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	10月1日

### 退任議員

役職名	氏名	事業所	退任日
互選議員	塔本 浩紀	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	9月30日